

北国の秋空に 神名響かせ

9月末・全教一斉にをいがけデー各地で活発に活動！

北海道教区報

第553号

発行所

天理教北海道教務支庁
札幌市中央区南8条西11丁目
電話011(561)-1148
FAX011(561)-1190
E-mail:kyouku-h@vega.ocn.ne.jp

印刷

三浦印刷株式会社



小樽支部

◎台風が何度も襲来した9月、29・30日に設定された「ようぼく実動の日」。この日も雨や風の影響が心配されたが、概ね北海道各地で晴れや曇りで過ごせて、午前午後と活動している支部もあった。報告された中からいくつかの支部を紹介します。

●渡島支部 津軽海峡を望む「道の駅・まつまえ」で集合した渡島支部では管内の教会のないう街（鹿部町、福島町、松前町）を順繰りに回っていて、今年は松前町で実施。

30日、集合時間の10時前には主だった参加者(教会長7名、その他13名)が皆揃い、諸説明後、おちばを遥拝。次いで、道路に面して横一列に並び、よろづよ八首を奉唱した。その後、教会長は路傍講演に、その他の参加者はのほりを立て、拍子木をたたいて神名流しを勇んでさせて頂いた。帰路には各々の方面に向かいながら、リーフレット配りをさせて頂きました。

●日高支部 9月6日に胆振東部地震に見舞われた日高支部では、被災支部として、地震後なかなかのをいがけに出かけられない状況であったが、のをいがけデーの3日間は、心掛けて外に出ましようと思いを掛けた。29



旭川支部

日の教会長路傍講演の日は、最多の13名が声をあげた。地震ばかりではなく、ブラックアウトや断水でも被災した教会が多く、活動自体も実施できるか心配されたが、「こんな時だからこそ、声を上げようと言って、支部の先生方が動かされたことが嬉しく思いました。路傍講演している時に、他支部のようぼくさんが弁士に声をかけてくれたと、皆で喜び合いました。」と。

●小樽支部 28、30日の午前中、天理教館に集合し、みんなでのリーフレットのポスティングを

した。教会長路傍講演の日は30日に設定。小樽は街中を様々な国の人々が歩いている観光都市です、中国、台湾、韓国その他、大勢の外国の方が訪れます。そこで、今年は本部布教部で出してお下さった「陽気ぐらしの天理教」のアプリル用紙・フリップを模して、中国語、ハングル、英語でのアプリル版を作成して、そのフリップを手に市内2か所で路傍講演をさせて頂きました。

「地元で体感する、海外布教！」をテーマに、楽しくのをいがけさせて頂きました。(路傍講演参加者・30日、教会長12名、その他10名)

「ようぼく実動の日」として函館で60名、旭川で52名、小樽で45名など多くの参加者で広く市街地をリーフレット配布に取り組めた所もあったが、全体を見ると、参加者の固定化、高齢の教会長さんの不参加、過疎地域の拡大で回り切れないなど、抱えている課題も多い。その中、「陽気ぐらし」のフリップを持って話すと、道行く人がしっかりと見て行つた、などの好感覚が報告され、のをいがけの更なる可能性も垣間見えている。

(M・F)

北海道教区のホームページ <<http://tenrikyohk.wixsite.com/tenrikyo-hk>> 教区報がご覧頂けます。

北海道教区 学生会 おつとめ総会



教区学生会(小川莉穂委員長)は10月20、21日にかけておつとめ総会を開催した。委員長は「今回のおつとめ総会のテーマは「気づこう心のありがたさ」としました。これは私が、「ありがたさ」という言葉、またありがたいと思う気持ちに助けられている事から、会員の皆様にもその気持ちと一緒に感じてほしくてこのテーマとしました。」と話した。

開催にあたりまして、教区长様をはじめ学生担当委員会、婦人会、しらくき会など多くの方々のサポートを頂き感謝しております。本当にありがとうございました。

学生層育成者講習会

教区学生会おつとめ総会の前日。20日14時30分から18時の日程で、学生層育成者講習会を開催。道内各支部担当者を含め28名が受講した。

学生層育成に携わる者の心構え、又本部学担の思いを直接聞く場として毎年この時期に開催している。

この度は、講師に本部学担当委員の中西はつよ先生をお迎えし、講話、質疑応答、支部担当者会議をおこなった。

先生は、自分が海外で生まれ幼少期を過ごされた経験などを交えて、学生や若者との接し方を楽しくお話し、女性目線での育成への思い等聞かせて頂いて改めて学生にお道に繋がってもらう大切さを教えていただいた。(大協記)



9月1、2日 わかぎの集い開催



小樽市の北盛分教会を会場に、「わかぎの集い」が開催された。今回は、学生会の協力の下、プログラムに「HARP」をもちこみ、教えをわかりやすく若い世代に伝える内容でつとめた。年代が近いこともあり、いろいろなカリキュラムで目を輝かせて受講する姿が印象的であった。

・参加者 わかぎ22名(内ひの)

“まなびばin旭川” 開催

きしん隊参加者14名 学生会
7名 育成会員13名 計42名
教区団团长 久米田忠彦



教区学生担当委員会(笹田弘之委員長)では、旭川市の上川分教会で10月20日、「まなびばin旭川」を開催した。
今回のまなびばは、広く道北の学生に参加して頂きたいとの趣旨で開催した。9名の学生の参加を頂き、とても意義ある行事となりました。
ご協力頂いた方々には誠に有難うございました。

教理随想 二十六

しっかりと生きる

木岡 昭

私が教会長を拝命して間もなくの頃、若い私は景気をつけなくてはい、毎朝教会のトイレ掃除をしばらくさせて頂いた。

或る朝掃除をしていると次女が開口一番「おお、お父さんが頑張ってるな。まあ、しっかりとやんな」と言った。「しっかりと云われたのはこれが初めてである。しかしそれは単に頑張れということである。

同じ頃、精神的に不安を抱える病気になられた御婦人がこの道に入信され、やがて元気になられた。ところが一年位経った頃だろうか、また調子を崩されて実家へ静養のため行かれた。

私は、少々遠いところであったが、おたすけに行かせて頂いた。私が伺った時には相当状態のよくない姿であった。私は早速、「おさづけを取次がせて頂きましょう」と申して席を改めて移した。彼女には私の前に座って頂き、私も正座して相対し、お祈りさせて頂くべく合掌

をさせて頂いた。と、その時彼女が突然大きな声で「会長さん。あんた、しっかりとやりなさいよ。」と私に気合いを入れたのであった。

私は帰る途中いろいろ考えた。彼女から言われた「しっかりとせよ」と云うのは胸にこたえた。それは気合いを入れられたという意味ではない。当時正常でなかった彼女の口から突然出た言葉である。この世のすべて、なってくるのは天の理である。やはり神様の思召しと悟って受けるべきと悟った。

では、この場合のしっかりとせよとはどうゆうことなのか。それは自分自身が心の底から本気になってしっかりと神様に教えられた人生の正しい道を信じ、身に行うことである。天の摂理を身に覚え、その生き方をしていくことこそ「しっかりと信仰している」ということではなからうか。教えが身についた人は、理に反する間違った行いはしない。そして自分の都合のみに合わせてた考えや行いはしない努力に怠らない。よく一生懸命頑張りますと云われるが、一生懸命とは自分の考えの範囲の中であるから、これはしっかりとしているとはいえないのである。

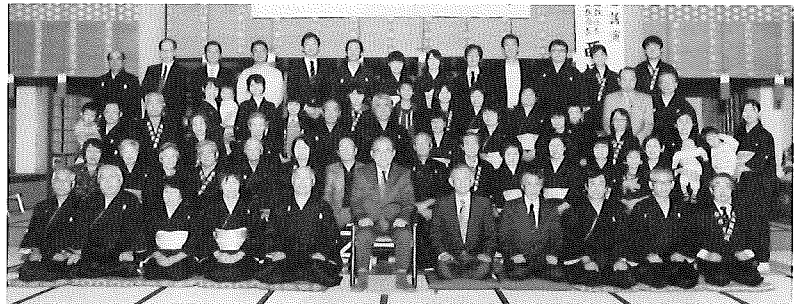
考えてみれば、自分がしっかりと信じていなければ自分もたすからず、人様を導き、たすけあげることは出来ない。自分の損得を優先させては絶対たすからないのである。本気とは、自分の都合のよい方向へ行くためのものではない。

真の陽気ぐらしへの生き方は、「うっかり」と暮らすのではなく、「しっかりと」信じて歩むところにある。

余市支部・創立50周年 記念おつとめ総会開催

去る9月22日、積丹分教会を会場に、西垣教区長、近隣支部の小樽・倶知安支部長を招いて、創立50周年記念おつとめ総会を開催した。

受付にて記念のしおり配布。9時より祭儀式、座りづとめ、よろづよ八首（青年会、女子青年、学生会、少年会）・前半・後半の4交代でつとめた。教区長の記念講演では、「先日、胆振東部地方を震源とする地震が発生し、また、国内に目を向けると、台風や水害などが多発しています。それは、親神様からお知らせ頂く「節」でありますから、改めて私達は、もつと信仰心を高め、素直に信仰をさせて頂く事が大事です。それが後々に信仰が続いていく事になると信じます。この支部の先輩たちも信仰のベースとして通られ、現在に至ったと思います。我々が



目指す「陽気ぐらし」に向かつては、よふぼくが互いにたすけあい、心勇ませて頂く事が何よりも大事であります。その勇み心で、ご家庭の信仰を進め、教会の歩みを進め、支部活動にもっていくという方向になるならば、大きな喜びとなり、御守護を御守護と感じさせて頂けることになると。この節から、皆さんのご協力によって各会が元氣におつとめくださると、北海道全体としても、一生懸命頑張つてつとめていきます。」と話された。

その後、直会では、記念の紅白饅頭が配られ、支部管内教会の懐かしい白黒の写真、各会活動をまとめたスライドショー、近隣支部有志による蘭陵王の舞と演奏。さらには、この日のために練習を重ねてきた教会長及び夫人、少年会員など18名によるパブリーダンスの力強い踊りと続いた。

(支部社友・中田)

お知らせ

(12月支部長会議日程及び時間変更について)

12月1日

中田善亮表統領ご来庁

13時・支部長会議

・ブロック別 支部長ねりあい

18時・懇親会

12月2日

9時・ブロック別 表統領懇談会

12時・予算会議

寮生大募集!

「布教の家」北海道寮、ひながたを实践しよう。今なお残る開拓精神! あらさとのつゆのようにふさわしい北の大地で!

期間 1年間
資格 教人
募集人員 10名
願書受付 立教182年11月25日~2月25日



新会長さん紹介

(平成30年9月26日お運び)

南空知支部

南幌分教会(夕張)

奉告祭 9月30日



齋藤 智明 氏 (43歳)

南空知支部

志加ノ谷分教会(夕張)

奉告祭 11月10日



岩佐 善昭 氏 (37歳)

けいじばん

◎福祉おつこめ総会

日時 11月3日(祝) 午前10時

会場 教務支庁

記念講演

本部員 上田嘉世先生

◎法律に関わる諸問題でご相談

の方は弁護士を紹介致します。教務支庁内の書記(渡部)

までご連絡下さい。

◎手話・点字講習会

毎月1日、教務支庁にて午後

6時から8時まで行います。

※雅楽練習会も併行して開催して

ています。(二布連)

◎毎月26日に本部月次祭遙拜式

をおこなっております。

基礎講座北海道会場

11月11日 教務支庁会場

今年の最終会場となります

※基礎講座9月7日深川会場は

台風の為中止となりました

計報

・大橋 教弘 様 9月16日出直 (10歳)

由仁分教会元会長 (南空知支部)

・横山 キン 様 9月25日出直 (87歳)

龍輝分教会前会長夫人 (空知支部)

・片岡 暁子 様 6月16日出直 (80歳)

北新川分教会前会長夫人 (函館支部)

・上杉 恵美子 様 9月29日出直 (88歳)

十徳分教会前会長夫人 (空知支部)

お詫訂正

・前号計報(旭川支部) 上西元

子様は西当麻分教会前会長夫人

の誤りでした。慎んで訂正させていただきます。

北海道教務支庁日誌抄

(9月19日~10月18日)

9月 25日 教区長会議

26日 本部月次祭遙拜式

28~30日 全教一斉にをいがけデー

30日 学生担当委員会例会

1日 たすけ推進会議

2日 支部長会議

4日 基礎講座主任会議

5日 任命願書発送

18日 事情願書発送

18日 教区報編集会議

YYFES (ワイワイフェス) 2018

日時 11月4日(日) 10時30分~14時 9時30分受付
<プログラム>

・プレミアムトーク

『働くようぼくは、どこでも輝ける!!』

講師 渡辺道治 (小学校教諭)

・私達にできる社会貢献

・各会活動紹介

・教区音楽祭 (今回は、ワイフェスの中で開催)

・支部青年会 YYプロジェクト紹介・体験ブース

・献 血 車 9時~

・参 加 費 中学生以上500円 子供無料

※昼食弁当会場にて配布

教えを深める講座!

『陽気ぐらし』

陽気ぐらしをどのように心に治め、そして実践とは。教えを伝えていく上でのポイントをわかりやすくお聞かせいただきます。

講師 幅下大教会長 伊藤 芳正 先生

日時 11月11日(日)

午前9時30分~ 受付
午前10時 開講
午前11時30分 質疑応答

会場 北海道教務支庁
住所 札幌市中央区南8条西11丁目1-1
電話 (011)561-1148
受講費 500円
主催 札幌4支部 布教部
(会場担当) 武田 TEL090-9974-4643
※お問い合わせは各支部布教部長まで